

令和4年度 羅針盤 玉村町立中央小学校

	評価項目	質問内容	対象	数値 目標%	方 策
I 確 かな 学 力	1	落ち着いた学習環境	児童	90	・「中央小5つの約束」により、全校で学習規律を徹底する。
	2	授業内容の理解	児童	85	・中央小スタンダード(授業の流れ・ノート指導・家庭学習の取組等)の実践を徹底し、分かる授業を行う。 ・教科担当制を拡充し、教科の魅力に触れて、学ぶ喜びや高い目標に挑戦する意欲を味わえるような授業を目指す。 ・興味関心を高める教材や授業の展開を工夫する。 ・少人数指導等、きめ細かな学習指導を行う。
			保護者		
			教職員		
3	基礎・基本の定着	保護者 教職員	85	・的確な実態把握に基づき個別の支援を充実し、基礎基本の確実な習得を図る。 ・音読、繰り返し学習を重視する。	
4	家庭学習の習慣	児童 保護者	85	・「家庭学習の手引き」「チャレンジ〇〇カード」「自主学习ノート(ドリームノート)」等を活用し、自ら学ぶ姿勢と家庭学習の習慣を育てる。 ・「中央小5つの約束」や「家庭学習の手引き」を配布し、家庭の協力を求める。	
II 豊 か な 心	5	いじめのない学校づくり	児童	100	・温かな学級経営により、互いを認め合える好ましい人間関係づくりを行う。 ・異学年交流活動を通して自己有用感を育む。 ・日常生活の観察や児童との会話や各種アンケート(心のアンケート)等から、児童の人間関係やいじめの実態の把握に努め、早期対策を講じる。 ・児童の様子を授業に関わる教職員が把握し、情報交換を密にし、全校一致体制で指導に当たる。
			保護者		
	6	規律ある学校生活	児童	90	・学校の決まりの意味について考えさせる指導を行い、児童自らが考えて行動できるようにする。 ・「学校生活のめあて」や「1日の生活指導」に基づき、全校一致体制で指導に当たる。
			保護者		
	7	進んであいさつ	児童	80	・全職員が進んで子どもたちにあいさつするとともに、気持ちよくあいさつができる温かな人間関係づくりに努める。 ・人権週間を中心としたあいさつ運動を計画的に実施する。 ・PTAと連携し、登校時の旗振りの際のあいさつの励行や家庭でのあいさつ習慣の確立を働きかける。
保護者 教職員					
8	適切な言葉遣い	児童 保護者 教職員	80	・「～さん・君」付けの呼名や時と場に応じた正しい言葉遣いを粘り強く指導する。 ・学校生活の中で、互いに相手の気持ちや立場を考えた言動がとれるよう、日常の生活指導に力を入れる。 ・人権尊重の言語環境について重点的に指導を継続する。	
9	自己肯定感	児童 保護者	80	・児童一人一人が認められる温かい学級づくりを行う。 ・学級の中の役割や委員会活動等を通して様々な活躍の場を設定し、児童の良さを伝えていく。	
III 健 康 体 力	10	基本的生活習慣(朝食)	児童 保護者	80	・健康観察シートを活用し、家庭と協力して児童の健康管理に努める。 ・生活リズムカード(運動・睡眠・栄養・排便)による生活記録調査を継続し、基本的生活習慣の定着を図る。 ・学校保健委員会を通して本校の課題を全校児童に啓発する。 ・栄養職員の協力により、食の大切さについての理解を深める。
	11	基本的生活習慣(早寝・早起き)	児童		
			保護者		
12	体力づくり	児童 保護者 教職員	80	・体力向上計画に基づき体力の向上を図る。 ・休み時間の外遊びを奨励し、日常の運動習慣を育成する。	

	評価項目	質問内容	対象	数値 目標%	方 策
IV た個に 指導	13 個に応じた 指導	○先生は分かりやすく授業をして くれたり、困ったときに先生が話を 聞いてくれたりしますか。	児童	80	・児童理解とユニバーサルデザイン の考えに基づき、どの子供にも 分かりやすい学習・生活環境の 整備に努める。
		○教師は一人一人に応じた指導を していますか。	保護者		
V 家庭・ 地域連携	14 情報発信	○家の外に友達や学校のことを話 したり、おたよりを見せたりして いますか。	児童	80	・学校経営の基本方針を全家庭に 配布するとともに、学校通信を 通して学校の考えを伝える。 ・各種通信、連絡帳、ホームペ ージ、楽メ等で学校からの連絡 や子供の様子、必要な情報を 伝える。
		○各種通信やホームページ、楽メ 等により学校からの連絡や学校 の様子が分かりますか。	保護者		
		○学級・学校からの必要な情報 を分かりやすく伝えていますか。	教職員		
	15 児童の 安全確保	○あなたは、家の人と登下校の危 ないところについて話し合い、確 認していますか。	児童	80	・校区内の安全に関する情報を共 有し、地域、PTAと協力して登 下校時の防犯や交通安全に努 める。 ・学級学年懇談会や地区懇談会 などで、通学路の安全確保に ついて話し合い、家庭や地域と の連携を密にする。
		○学校は登下校中の安全対策を家 庭と地域と連携して進めていま すか。	保護者		
	16 地域の教育 力を生かした学 習活動	○学校は地域の教育力を生かした 学習活動を行っていますか。 (授業支援・読み聞かせ等)	保護者 教職員	80	・読み聞かせ・体験活動・授業 支援・安全パトロールなどに地 域のボランティア人材を活用す る。 ・各種通信やホームページ等で 地域への情報発信を積極的に 行い、教育活動への支援者の 確保に努める。
VI 安心・ 安全	17 施設・設備 の安全	○学校は児童の安全を考えて教育 環境を整えていますか。	保護者	100	・教職員が日常から安全に対する 意識を高め、改善が必要な場 合は速やかに担当や管理職に 連絡をする。 ・毎月の安全点検を徹底する。 ・児童の安全指導の充実を図る。
		○毎月1回、学校の施設・設備を 点検し安全の確保に努めていま すか。	教職員		
	18 安全教育	○あなたは交通ルールを守り、登 下校で安全に気を付けています か。	児童	90	・学期ごとの避難訓練、交通安 全教室での指導や長期休業前 の交通安全指導、長期休業後 の登校観察等により、安全指 導の徹底を図る。 ・自転車の安全な乗り方、安全 な道路の横断方法など、日常 指導を繰り返す。 ・学活や道徳で安全について扱 い、防犯意識を高める。 ・安心安全教室(防犯教室)を実 施する。
○学校は事故防止に努め、安全指 導や避難訓練を通して、自分 の身は自分で守る意識を育て ていますか。		保護者			
	19 丁寧な対応	○学校は家庭からの連絡や相談に 丁寧に対応していますか。	保護者	80	・学校での児童の出来事を迅速 に保護者に知らせる。 ・保護者や地域の方に対して、 共感的理解に基づくきめ細か な丁寧な対応を心がける。
VII 組織運 営 教職員 のみ対 象	20 学校の教育 目標の達成に 向けた全校体 制の実践	○全校一致の指導体制のもと、 目的のある計画的な教育活動 が行われているか。	教職員	80	・教育目標のもと、各種教育 主体計画・指導計画の整合性 を図り、目的を明確にして教 育活動に当たる。 ・学年・教科等主任のリーダー シップのもと、意図的・計 画的な経営を行い、教育目標 の具現化に努める。
	21 教育活動に ついて相談で きる職場の人 間関係	○教育活動について相談できる 職場の人間関係をつくってい るか。	教職員	80	・職員のコミュニケーションを 図り、相談しやすい体制を作 る。 ・メンター研修を活用する。 ・日頃より悩みを共有しようと する意識を教職員が持つ。
	22 学校評価に よるPDCAサイ クルと改善策 の具体化	○学校評価が適切に行われ、改 善策を具体化しているか。	教職員	80	・学校評価計画に基づいた学校 評価の実施。 ・自己評価・学校関係者評価を 通して明らかになった結果を 学校評価検討委員会で分析し て改善策を練り、全職員に広 げて共通理解を図る。
	23 服務規律の 確保	○校内服務規律委員会を定期的 に開催し、常に教職員の服務 規律確保に努めているか。	教職員	80	・規律確保行動計画を確実に 実施する。 ・定期的に服務規律委員会を 開催し、行動計画の自己点検 、見直しを図る。 ・具体的事案を共有し、教職 員の認識を高める。
	24 教師の資質 向上と授業改 善に結びつく 校内研修	○校内研修は教師の資質向上と 授業改善に役立っているか。	教職員	80	・校内研修を全体研修や短時間 研修等の多様な形態で実施し 、課題対応力や授業改善にお ける教師力を高める。 ・食物アレルギー対応研修を通 して命を守るために迅速に対 応ができるようにする。
	25 考える力を 育てる児童 の実態把握 、授業展開	○児童の実態を把握し、授業展 開を工夫し考える力を育て ているか。	教職員	85	・「めあて・まとめ・振り返り」 の授業展開を重視し、それぞ れの段階に効果的なICT活用 を取り入れ、主体的に学び、 考える力を深める授業を実 践する。
26 各種文書・デ ータ等の管理	○各種文書・データ等は、分掌 や担当ごとに適切に管理され ているか。	教職員	90	・必要な文書、データは職員 サーバーの所定場所に保存す る。 ・資料を学年ごとの保存場所 を決めて適切に管理する。	